

2050年の社会が豊かで持続可能な社会であるために、私たちは地球環境への負荷を最小限にする挑戦を続けます。



今回のトピック



資源の使用量最小化と有効利用を推進し
循環型社会の実現を目指します



資源をたくさん使い、たくさん捨てることは地球環境に負担をかけることにつながります。私たちいすゞグループは、自動車やエンジンを作る時などに使う材料・資源の効率的な利用やリサイクルの推進を通して、「循環型経済」システムへの移行を実現していきます。

資源の有効活用を推進する活動

梱包・包装資材の削減



キャブ用容器 (オレンジ)
部品用容器 (グレー)

海外の組み立て工場へ自動車の部品やキャブ(運転席のこと)を輸出する時に「リターナブル容器」を使っています。リターナブルとは、再使用するために返却・回収ができるという意味です。今までは海外工場で容器を捨てていましたが、限りある資源を守るため、くり返し使える容器を導入し、日本へ返却後、再び海外に向けて使用しています。また、一つのコンテナにたくさんの容器が無駄なく積めるよう、容器の形や大きさを工夫し、輸出するコンテナの数も削減しています。

リビルトを推進する活動

リビルト製品の拡大



リビルトとは、使用済みのまだ使えるパーツを分解してきれいにして、もう一度組み立てることです。リビルト製品を増やすことで、原材料を使う量や製造時の水・エネルギーを使う量を減らせます。いすゞグループでは、新品と同等の検査基準に合格したリビルト製品を、純正リサイクルパーツ「E-PARTS」としてお客様にお使いいただいています。今後は「E-PARTS」の種類をさらに増やし、リビルト製品の拡大を図っていきます。

再資源化を推進する活動

廃棄物・使用済み自動車のリサイクルの推進



自動車やエンジンを作る時の廃棄物(ゴミ)やオフィスで出る廃棄物は、細かく分別しています。分別することで、使えるものはリサイクルに回し、そうでないものは適切に処分しています。また、自動車リサイクル法という法律に基づいて、使用済み自動車のシュレッダーダスト(車をスクラップして、鉄などの資源を取り除いた後に残ったプラスチックやゴムなど)・エアバッグ類・フロン類をリサイクルしています。